

## 学校教育自己診断の集計結果の分析と課題について

### 1. 分析

否定的回答である C（あまりあてはまらない）と D（まったくあてはまらない）を合計して教職員は 30%以上、児童生徒及び保護者は 20%以上のものを次年度重点的に改善する候補として考えた。以下は、それらをまとめた項目の一覧となる。

				<b>令和 3 年度 学校教育診断票（教職員）</b>				
	教職員数	回収数	回収率	大阪府立思斉支援学校				
学部	36	34	94%	A	B	C	D	F
学部	45	41	91%	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
学部	58	50	86%					
学部外	17	16	94%					
無回答		15						
計	156	156	100.0%					
7	教育相談体制が整備されており、児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。			30 19%	67 43%	40 26%	11 7%	8 5%
14	学校教育のあらゆる場を通じて防災教育を行っている。			25 16%	70 45%	47 30%	7 4%	7 4%
15	校長は、自らの教育理念や学校経営についての考え方を明らかにしている。			30 19%	67 43%	39 25%	12 8%	8 5%
16	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。			20 13%	58 37%	50 32%	20 13%	8 5%
17	学校運営に、教職員の意見が反映されている。			16 10%	69 44%	48 31%	13 8%	10 6%
18	教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。			11 7%	58 37%	56 36%	22 14%	9 6%
19	各分掌や各学部、学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。			17 11%	64 41%	45 29%	20 13%	10 6%
22	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。			28 18%	71 46%	41 26%	8 5%	8 5%
23	事故・事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。			31 20%	71 46%	39 25%	8 5%	7 4%
28	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。			18 12%	56 36%	56 36%	13 8%	13 8%
29	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。			16 10%	53 34%	56 36%	22 14%	9 6%
30	教員間で授業方法等について、検討する機会を設けている。			11 7%	57 37%	64 41%	9 6%	15 10%
34	近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設けている。			11 7%	45 29%	63 40%	22 14%	15 10%

※小数点以下四捨五入

				令和3年度 学校教育診断票（保護者）					
	児童生徒数	回収数	回収率	大阪府立思斉支援学校					
小学部	86	79	92%						
中学部	118	93	79%						
高等部	151	116	77%						
無回答		12							
計	355	300	84.5%						
				A	B	C	D	E	
				よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
15	学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。			95	134	53	10	8	
				32%	45%	18%	3%	3%	
21	学校は、子どもが他の学校の子もたちと交流する機会を設けている。			78	115	63	16	28	
				26%	38%	21%	5%	9%	
25	学校のホームページをよく見る。			40	103	121	32	4	
				13%	34%	40%	11%	1%	

※小数点以下四捨五入

				令和3年度 学校教育診断票（児童生徒）				
	配布数	回収数	回収率	大阪府立思斉支援学校				
小学部	26	26	100%					
中学部	52	52	100%					
高等部	93	93						
計	171	171	100.0%					
				A	B	C	D	F
				よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
5	先生には、なんでもそうだんできる。			81	42	28	18	2
				47%	25%	16%	11%	1%
10	こうちょう先生のはなしは、よくわかる。			95	36	20	17	3
				56%	21%	12%	10%	2%
14	じゅぎょうや行事で、近くの学校やきんじょの人と、こうりゅうすることがある。			46	26	33	62	4
				27%	15%	19%	36%	2%
15	学校のホームページを見ることがある。			50	27	13	78	3
				29%	16%	8%	46%	2%

※小数点以下四捨五入

## 2. 次年度の重点課題

### ①学校ホームページの運用の改善

保護者、児童生徒ともに、ホームページを閲覧する機会が少ないという結果が一致している。否定的回答が、保護者51%、児童生徒54%と過半数を超える高い数値である。しかしながら、教職員の「情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている」項目は76%の肯定的意見となっており、大きな乖離がみられる。

### ②教育相談体制の整備

児童生徒、教職員ともに、「児童生徒が相談できる」項目の否定的回答がそれぞれ27%、33%と高い数値である。様々な悩みや不安を抱える児童生徒の相談を受け入れる体制の構築が必要である。

これら①②について、全教職員からの提案をもとに具体的な改善策を検討し、次年度の学校運営に反映させる。